

総合計画審議会 意見記載様式

※第4部会第1回会議の審議内容に関する意見

委員名： 五十嵐 実

No.	素案ページ	ご意見
1	72ページ 重点戦略	重点戦略9「脱炭素・循環型社会の実現」を「脱炭素・生物多様性保全・循環型社会の実現」へ 理由 生物多様性主流化は2030年までに必要性が更に高くなるから温暖化危機対策と同列に重要である。
2	92ページ 重点戦略	具体的な施策 に「生物多様性の保全の推進」をいれる。生物多様性は新潟市においても危機が迫っています。生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の保全を推進し、外来種対策、希少種の保護を推進します。」を入れる。 理由 生物多様性は新潟市においても危機が増大している。また生物多様性国家戦略の改定も今年行われ新潟も地域計画の改定が要請される。生物多様性危機は気候危機と同じ重要な問題であるから。
3	193ページ 政策16環境	基本方針の中に「温室効果ガスの排出を大幅に削減」を「温室効果ガスの排出を国の目標46%を上回る削減」に 理由 数字をはっきりさせて国の目標を上回る目標を立てる事により実行を促進する為。松本市の総合計画は明記している。
4	193ページ 政策16環境	基本方針の中に「新潟市の2021年気候非常事態宣言」を行ったことを明記する 理由 気候危機は待ったなしの状況で2030までの目標が極めて重要であり、新潟市議会でも宣言していることを明記することにより総合計画の中で明確にする
5	194ページ 政策16環境	生物多様性への影響 に「新潟市でも絶滅危惧種の増加が予想され、外来種の増加も著しく地域の生物多様性が脅かされています。」を入れる。 理由 生物多様性の危機も温暖化同様大きな危機であることに意識を向けてもらうため。
6	197ページ 政策16環境	施策3 自然との共生に「環境教育を推進し、小中学生はじめ市民に対する環境教育、生物多様性教育を推進し、環境NGOなどと協力し、自然環境に対する知識の普及啓発を高めます。 理由 自然との共生を行うためにはまず自然環境に対する正しい知識が必要でありここは重要であるから。(IUCN)一方で、子供や大人の自然離れが進んでいるため。
7	198ページ 政策16環境	政策指標に新潟市の絶滅危惧種の種数を入れる。 理由 コハクチョウの飛来数で生物多様性の度合いは図れないから。GISデータで単位面積当たりの種数は現在でも把握でき、比較ができるようになっている。(新潟市RDBレッドデータブックなどの活用)
8	198ページ 政策16環境	政策指標に自然保護区の面積を入れる。 理由 環境省は30by30で陸域の30%を自然保護区(OECM)にする目標を立ててる。新潟市でもこの目標を目指すことが必要であるから。